第２回学校評議員会　評議員意見

平成２６年１月２４日（金）
午後３時～午後５時
秋田県立矢島高等学校大会議室

・職員の意識と保護者の意識のずれを感じる。保護者はどうしても進路実現に目がいくが、職員は基本的生活習慣を確立することで、学習習慣も定着し学力も向上する。その結果が進路につながると考えている。保護者にもこのことを理解してもらい、子供の生活を家庭で十分観察してもらうことが必要である。生徒個々への丁寧な対応は引き続きお願いしたい。
・地元矢島地域や由利本荘市役所への就職が少なく残念。
・「ひな街道」への学校としての取り組みは、外部に対してアピールする良い機会である。生徒の配置に工夫をして評価を高めてほしい。
・生徒減少による学校の勢いの後退を感じる。生徒一人ひとりに目の届いた指導をお願いしたい。同窓会では平成２８年の９０周年に向けてどのような支援ができるのか考えていく。
・職員の日々の指導に敬意を表したい。外にいると、まだまだ知らないことが多いと感じた。学校では問題のある生徒でも社会に出て世の中にもまれて立派な人間になっていく場合もあるので、根気強く指導してほしい。
・職員のつながりが薄れてきていないか。職員が同じ目標を持って進んでほしい。